第４章　歳入増加策について

1　市税や国民健康保険税等の納税推進

一人一人が滞納しないことが健全財政の第一歩

市税は、私たち市民が、安心した健康的な社会生活を営むために必要なお金です。また、国民健康保険は、日野市が事業主として運営している健康保険で、お年寄りから個人事業者、パートやアルバイトの方々と幅広い市民がその保険料を支払いことで、保険の恩恵を享受しています。

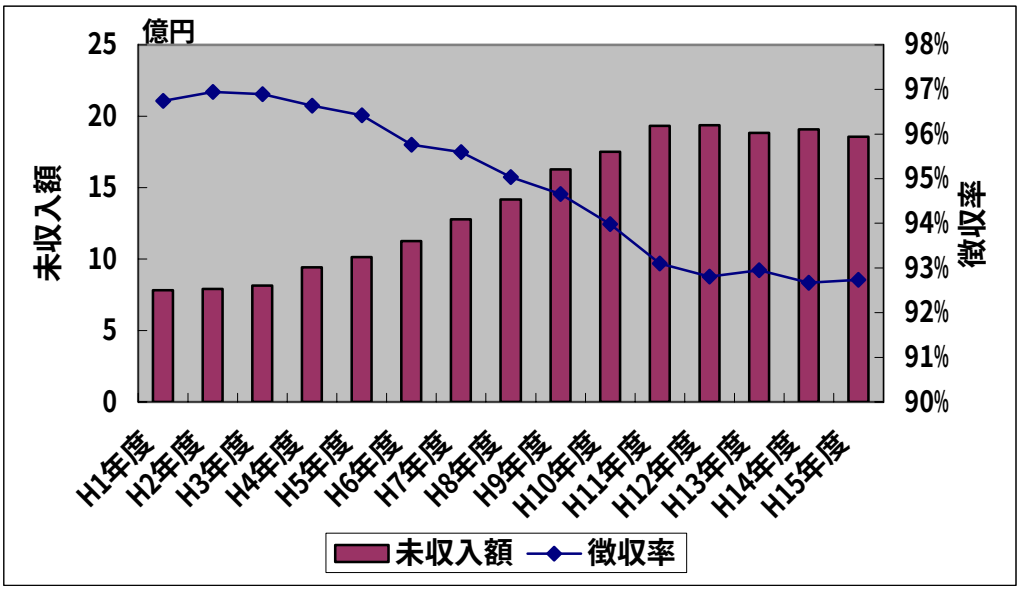
　このような公的なお金は、自分の収入や資産に応じて、キチンと納付することが市民の義務です。

しかし、以下のグラフに示すように、市税の未収入額は毎年増加し、平成 15 年度では 18.5 億円に達しており、国民健康保険税でも約 10 億円になっています。その反面、徴収率は減少しており、市税では平成 15 年度 92.7%に、国民健康保険税に至っては 77%まで落ち込んでします。

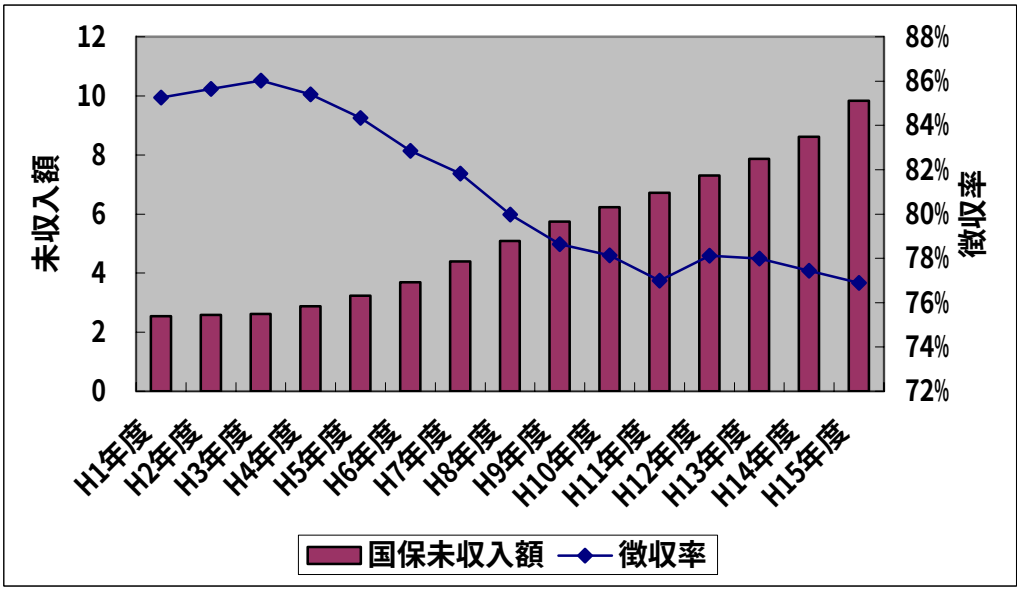
市民としては、社会の一員として、私たちが安全で安心した環境を守り、子供たちにこれらをしっかり伝えていくために、自己の所得や資産に応じて、必ず税金を収めましょう。

また、市としては、社会の公平性の観点から、法的手続きを含めた、徴収の実施を徹底すべきといえます。

税未収入額と徴収率



国保未収入額と徴収率



現年度分および滞納分を合わせた徴収率

最近３年間の詳細データ

このことを、平成 13 年度から平成 15 年度までの決算で詳しく分析してみると、以下の表に示すような状況になっています。

（単位百万円）

	平成 13 年度		平成 14 年度		平成 15 年度		備考
	欠損	滞納	欠損	滞納	欠損	滞納	
市税	155	1,883	179	1,908	176	1,857	
個人市民税	110	953	120	945	76	937	徴収率 97.7%
法人市民税	5	22	4	21	4	22	徴収率 99.5%
固定資産税	31	746	45	774	79	737	徴収率 98.4%
都市計画税	6	153	9	159	16	151	
軽自動車税	1	10	1	10	1	10	徴収率 95.1%
負担金・手数料	6	116	26	101	6	106	
知的障害措置費	—	4	—	4	—	4	徴収率 2.6%
老人措置費	—	12	6	4	0	4	徴収率 81.4%
保育園	—	34	19	20	4	19	徴収率 95.1%
学童クラブ	—	3	—	4	—	5	徴収率 91.3%
市営住宅	—	52	—	59	—	66	徴収率 74.1%
幼稚園	—	1	—	1	—	1	徴収率 97.8%
清掃費	6	6	1	4	1	3	徴収率 99.4%
生活つなぎ資金	—	5	—	5	—	4	徴収率 1.0%
特別会計	74	821	77	912	83	1,047	
国保一般	73	781	75	856	77	963	徴収率 88.2%
国保退職	1	5	0	5	1	20	徴収率 97.8%
下水道使用料	1	21	1	23	1	25	徴収率 98.6%
介護保険	—	14	1	27	4	37	徴収率 91.4%
合計	229	2,821	256	2,921	259	3,010	

欠損：不納欠損額のこと。時効などにより、徴収することができなくなった金額
滞納：収入すべき金額でまだ入金がない金額。決算書では収入未済額と言われる。
市税の徴収率は現年度に対するもの、滞納分に対しては、それぞれ 17.5%、23.0%、15.8%、29.0%。
国保の徴収率は現年度に対するもの、滞納分に対しては国保一般 18.1%、国保退職 33.0%
介護保険の徴収率は普通徴収の現年度分（特別徴収は 100%）、滞納分は 22.6%。

滞納額の合計は 30 億円にも上りますが、そのうち個人の市民税と固定資産税、国民健康保険税で約 26 億円となり、全体の.約 88%を占めています。これらについて、重点的に対応が必要と考えられます。
また市営住宅や生活つなぎ資金の返済など徴収率が著しく低いものもあり、それらについては徴収のあり方や政策のあり方を含め見直す必要があるのではないかと思われます。

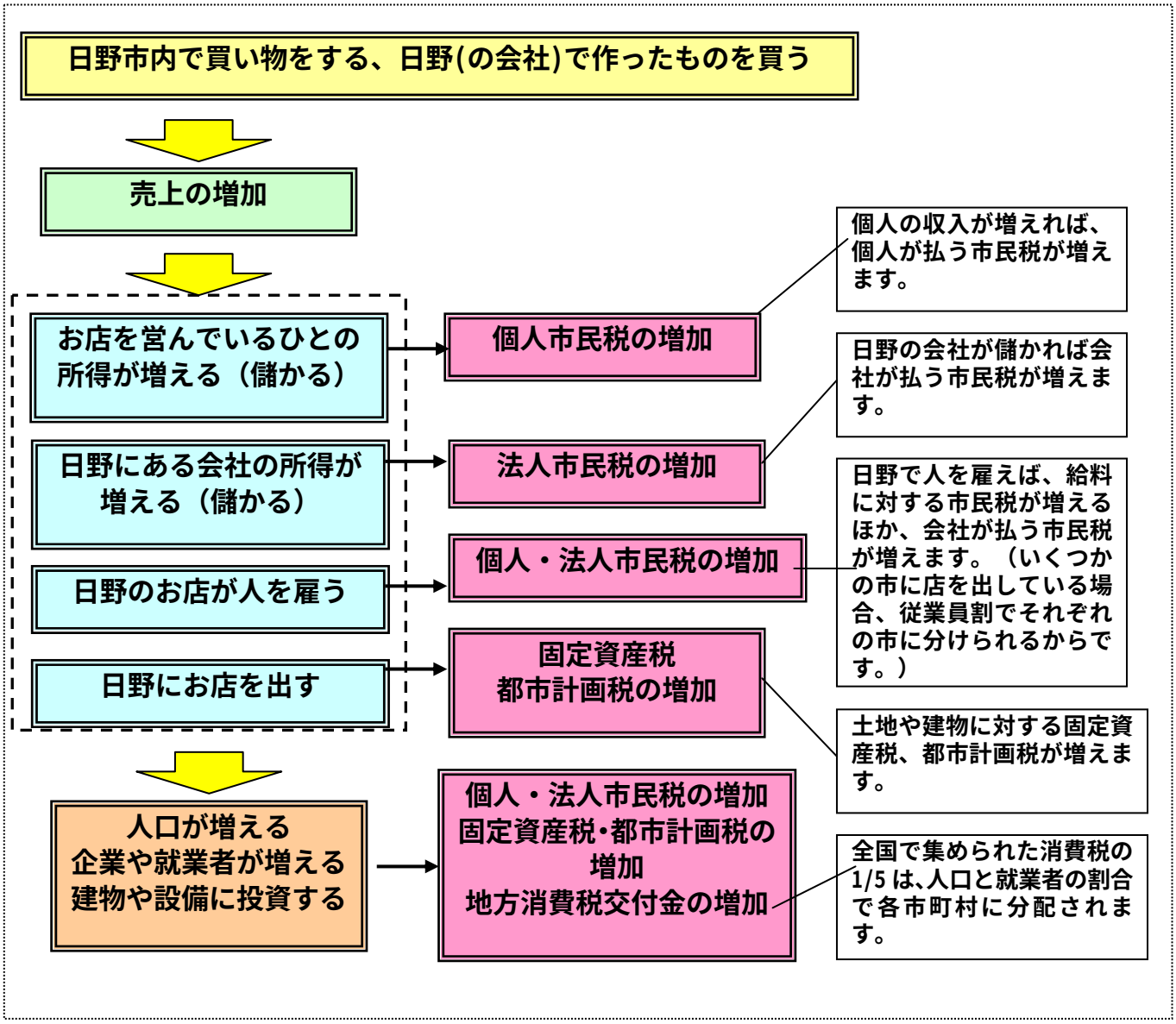
2　経済活性化と歳入増加

財政健全化のためのもうひとつの鍵は歳入の増加

財政の健全化のためのもうひとつの鍵は歳入の増加です。
歳入を増やすのは簡単なことではありませんが、基本的には日野の街を活性化することが第一です。
市民一人一人ができることとしては、例えば「**買い物は日野市内でする**」や「**日野で作ったあるいは日野の会社で作ったものを買う**」ことがあります。

（1）買い物の効果

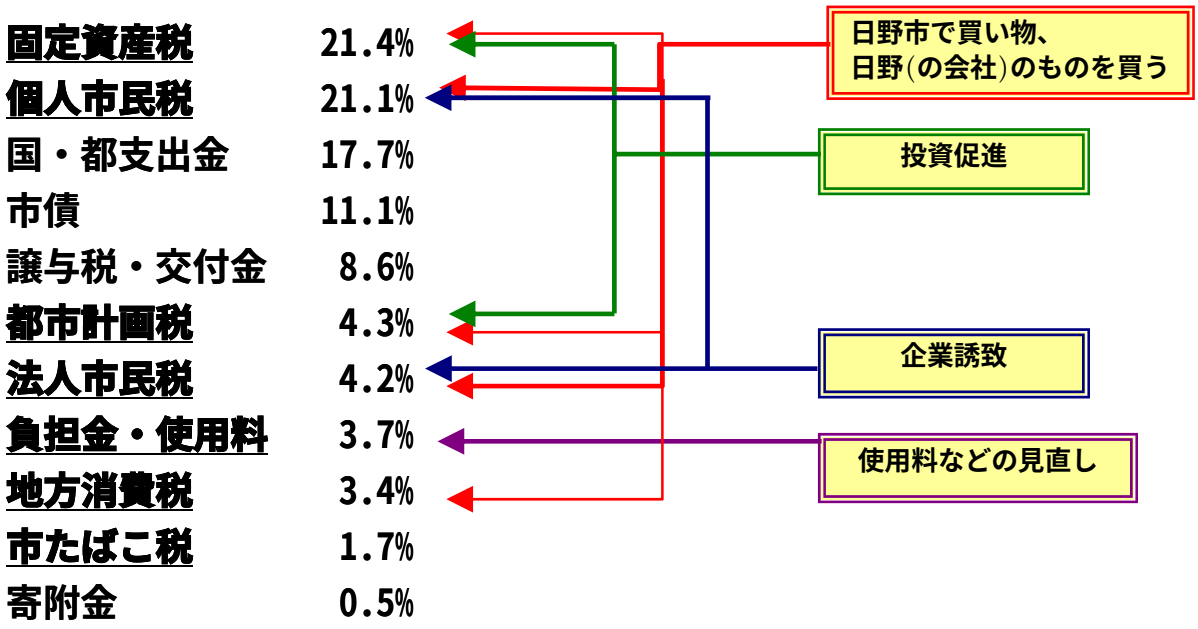
同じ買い物をするでも日野市内で買い物をすると、どのように財政の健全化に貢献するのでしょうか？



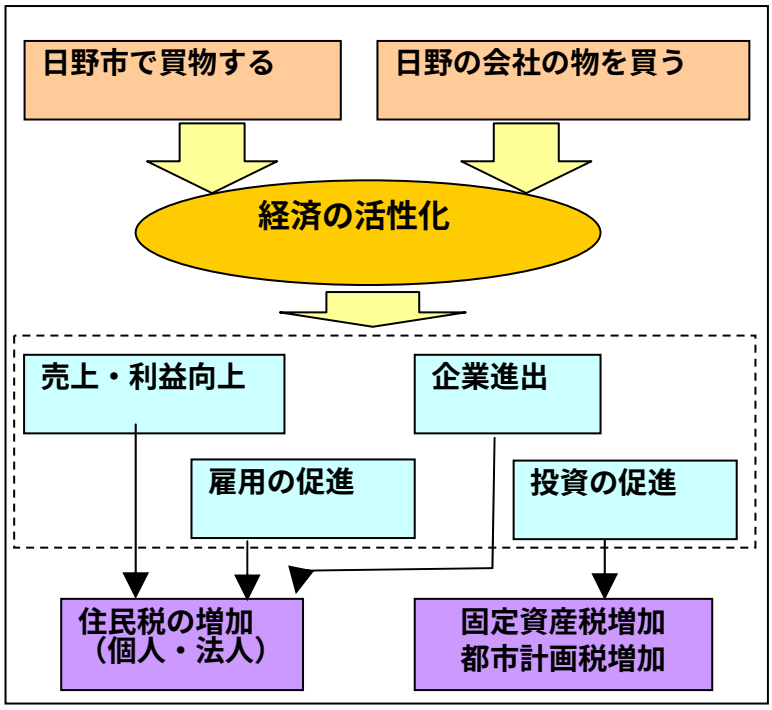
上記のように、日野市民が日野市のお店で買い物をしたり、日野市の業者にサービスを依頼することや、日野市に本社や工場を設置している企業の商品を購入することを続けていくと、（風が吹けば桶屋が儲かる的なところはありますが、）いろいろな面から日野の増収に結びつきます。また街自体の活性化や雇用の拡大にも貢献することができます。

（２）その他の増収策

日野市の上位の歳入項目のベスト１０は以下の通りであり、これで全体の 97%を占めています。
先ほど述べた「日野市内での買い物」や「なるべく地元企業の商品を買う」が歳入のいろいろな項目に対して効果がありますが、その他にも、企業や投資の誘致による固定資産税や法人市民税の増加、使用料等の見直し（これは歳出の削減にもつながります。）などが、歳入を増やすための施策として考えられます。



なおたばこ税は、市で買えばそのまま市の歳入になりますが、喫煙は有病率を上昇させ、医療費などの上昇を通じて財政を圧迫する要因となる（医療費が約４％程度増えるだけでプラスマイナス０になってしまいます。）ので、その収支のバランスについては注意が必要です。
できれば、たばこは控え、もし買うのであれば日野市で買うようにするのがよいのではないでしょうか。



用語集

あ

依存財源：
　市が自分で調達する財源以外の財源です。家計でいえば、仕送りや親からの援助、借金などにあたります。
　⇔自主財源

一般会計：
　いわゆる市の会計といえば一般会計のことを指し、我々が広報などで目にするのは一般会計がほとんどです。市からの市民サービスのほとんどがこの一般会計のお財布から出ています。

衛生費：
　ゴミ処理の費用や市立病院への補助、保健衛生関連の費用です。

か

介護保険：
　日野市が運営し、介護サービスを提供する公的な保険です。

教育費：
　小学校や中学校（先生の給料は含みません）の建物の維持・管理、給食や幼稚園、生涯学習、図書館の運営費などです。

区画整理：
　正式には土地区画整理事業。狭い曲がりくねった道路で区画されているような地域（豊田駅の南側や西平山のイメージ）を、広い道路が十字に通った地域（豊田駅の北側のイメージ）に変えていくことで、車が通りやすく、安全・快適な街にしていくための事業。
　道路の大半を作り変え、建物も一つ一つ動かしていくので大変にお金と時間がかかる事業です。

繰入・繰越：
　貯金の引き出しに当たるのが繰入、年の頭に手許にあるお金が繰越です。

繰出金：
　不足分を埋めるなどの理由で特別会計に渡すお金と基金への拠出金です

公債費：
　借金の返済と利子の支払の合計です

交付金：
　国が一元的に集めたお金を各市町村などに振り分けているお金のこと。例えば、日本中の消費税を集めて、それを人口などの基準で分ける地方消費税交付金（17 億円ぐらい）や国に入ってくるいろいろな税の一部を集めて税収の少ない自治体に分ける地方交付税（3 億円ぐらい）がその主なものです。

国民健康保険：
　サラリーマンや公務員以外の人を対象とした公的な医療保険です。

固定資産税：
　土地や建物、大きな機械などの資産を持っている人や会社から資産の価値に応じた金額を払ってもらう税金です。

さ

歳出：
市の財布からその年に出ていった金額で、支出とほぼ同じ意味です。
ただし、歳入の場合は基金への積み立て（定期預金に預けるようなもの）も歳出となります。

財政調整基金：
財政が苦しいときのために積立てておく貯金。

自主財源：
市が自分で調達できる収入のことで、家計でいえば給料やアルバイトなどにあたります。
⇔依存財源

支出金：
国や都が市に仕事をお願いするときや、国や都が市にお進めする仕事をさせるときに支払うお金。例えば、国政選挙の費用は都が全額負担、障害者のための費用のうちあるものは基準までの範囲は国が 1/3、都が 1/6 出すとかルールが決められています。

市税：
私たち市民が支払う税金のうち市に直接入るものです。国や都から日野市に払うお金は使い道が決められているものが大半ですが、逆に市税は大半が使いたい目的に使うことができるので、これが増えるほど財政は健全といえます。
中身は住民税、固定資産税（この２つが最も多い）、軽自動車税（軽自動車や原付、バイクにかかる税。年間七千万円ぐらい）、たばこ税（年間８億円ぐらい）、入湯税（年間一千万円ぐらい）、都市計画税（土地と建物にかかる税金。年間 20 億円ぐらい）

住民税：
個人や法人（主に会社）の収入に応じて支払う税金のうち、日野市に入るものをここでは指します。市民税という言い方をする場合もあります。ちなみに都に入る分は都民税、国に入る分は、所得税（個人）や法人税（会社）といいます。

社会福祉費：
児童福祉費・生活保護費以外の民生費。障がい者・高齢者・国民健康保険・公民館など内容は多岐に渡ります。

受託水道：
日野市の水道は都の水道局の管轄です。水道管理や改良にかかる費用を日野市が都から委託を受けて行うもので、支出と同額が都から収入として入ってきます。

消防費：
消防・防災のための費用です。

使用料・負担金：
市民サービスの利用者や市の施設の利用者から受け取るお金です。平成 12 年以後ゴミが有料化されたので、割合が増えています。（4 億円程度）

性質別歳出：
人にかかった費用や物にかかった費用など支出の性質によって横断的に分類したもの。
人件費・扶助費・公債費・物件費・補助費・繰出金・投資的経費などに分類されます。

総務費：
市役所や職員の管理費、広報、徴税、住民台帳の管理などにかかる費用です。

た

投資的費用：
　固定資産の取得や建設にかかる費用です

特別会計：
　特定の事業の推進や財産の管理を目的に一般会計とは別立てで行なう会計です。

土地開発公社：
　市が必要とする土地をあらかじめ買っておく会社です、市が１００％出資しています。

土木費：
　道路や橋などを新築したり管理したりするための費用です。

な

は

扶助費：
　福祉の一環として、生活保護者など福祉を受ける人に支給する現金や物品等の費用です。

物件費：
　人件費、扶助費、補助費等他に分類されない消費的経費をまとめたもの。備品や使用料、委託費の他、意外なところでは臨時職員の賃金も物件費に入ります

補助費：
　各種団体への補助金、報酬などです

保留地：
　お金がかかる区画整理事業の費用をまかなうために、区画を整理することで生まれた土地を売ったお金を充てますが、その売るための土地のことを保留地といいます。
　近年は地価の下落が続いており、売ったお金が減った分は市が持ち出しをすることとなります。

ま

民生費：
　福祉や生活を豊かにするための費用です。大きく社会福祉費（障がい者、高齢者福祉はここに入ります。）、児童福祉費、生活保護費に分けられています。

目的別歳出：
　行政の目的別に歳出を分類したものであり、民生費・総務費・土木費・教育費・衛生費・消防費・議会費・労働費・商工費・農業費・公債費などに分類されます。

や

ら

類似都市：
　都下 26 市のうち、産業構造・人口規模の近い 10 の市を指します。日野市のほか、立川市、小平市、多摩市、東村山市、三鷹市、西東京市、調布市、府中市、武蔵野市です。

老人保健：
　70～75 歳以上（現在制度改正中）の高齢者を対象とした公的な医療保険です。

わ

[日野市健全財政を考える会]

石塚　辰郎
内川　武
大木　達雄
大関　康夫
神山　正志
菊地　修
小塩　茂
古藤　全海
清水　巌
杉崎　耕一
中澤　洋
中村　彰
永山　登志雄
楢本　昭
早坂　勉
古屋　武雅
保坂　誠治
松尾　正
向野　隆
渡邊　麻男
（五十音順）

[デザイン協力]
東　啓史

おわりに　～～～日野市民へのメッセージ～～～

日野市は「緑と清流の街」。豊かな自然の中で、市民が伸び伸びと生活を育み、企業が活発に事業を営む、私たちの市民一人一人の人生の舞台です。この日野市は、私たちの先祖から譲り受けた「大切な共有財産」であると共に、私たちの子孫に手渡していく「かけがえのない資産」です。

しかし、現在の私たちの行動は、財政運営の視点から見ると、私たちが今を生きるために、そのツケ（借金）を子や孫に廻していることになります。未来に夢のある子や孫たちに、これ以上の重荷を負わせることは避けるべきです。

そこで私たち市民は、これからも豊かで安全な社会を築き続けるために、キチンと税金を納めると共に、税金の使い道にも関心をもち、財政健全化に向けた行動をとることが大切です。

ついては、市民一人一人が、以下の規範に則って、行動していきましょう。

一．日野市で買えるものは日野市で買おう
～ その一部が税収になります。

一．地元企業の商品を優先して買おう
～税収増効果に加え、街の活性化や雇用拡大にも。

一．ゴミを減らそう！
～ ゴミ処理にはゴミ袋代の 4 倍のお金がかかっているんだって！

一．要らないサービスはいらないと言おう
～ 有料ならそのサービス受けますか？

一．健康で楽しい生活を
～ 健康でいることは人生の幸せと市の財政健全化につながる。

一．税金をちゃんと払おう
～ なんと累積で 18 億円もの滞納が！ 国民健康保険税も忘れずに

一．税金の使い道をしっかり監視しよう
～ 大切な私たちのお金です。使い方にも関心を。

平成１７年６月
日野市健全財政を考える会
代表　菊地　修
副代表　石塚辰郎、向野　隆